



回 覧

(573号)

令和二年十月一日
金華婦人会会報委員会



生活学校施設見学
九月一日、施設見学に参加しました。歴史博物館の「麒麟がくる」の岐阜大河ドラマ館です。

講堂に入り加藤栄三・東一美術館館長・山本真一様より「土岐氏の鷹」についての説明がありました。土岐氏は鷹の絵を描く才能に優れ、その絵は「土岐の鷹」とよばれて武家が描き芸術性が高いと珍重されており、一族では江戸時代まで描き続けられました。土岐氏には違つ雅言が使われていました。土岐頼芸の子孫は徳川幕府の高官として徳川家に仕えています。その紙は「ユネス」世界無形文化遺産に登録されている美濃和紙が用いられました。

次に、大河ドラマ観推進課長熊谷様よりドラマ館の説明がありました。一月十一日に開館し順調な滑り出しをしましたが、思いもよらぬ新型コロナウイルスの影響で、九月半やむを得ず休館となりましたが、再開して八月中旬には十万人を超えたとの事です。館内のドラマシアターでは、メイキング映像に合わせた演出証明で、ドラマの世界へと吸い込まれて行きました。その道三公が「長良川の戦い」で討ち死にしますが、「このシーンもドローンならではのシーンではなかるうかと」と思っています。

「コロナの影響で一ヶ月半やむを得ず休館となりましたが、再開して八月中旬には十万人を超えたとの事です。館内のドラマシアターでは、メイキング映像に合わせた演出証明で、ドラマの世界へと吸い込まれて行きました。その道三公が「長良川の戦い」で討ち死にしますが、「このシーンもドローンならではのシーンではなかるうかと」と思っています。

ドラマで使用された衣装や小道具の中に、道三公が使用したとても長い青目槍の展示もあり印象的でした。講堂で説明を受けた土岐頼芸の鷹の絵も展示されていました。歴史に名を遺した信長公の豪華な響応膳の展示もありました。天正十年安土城での献立は、当時の正式な料理スタイルだったようです。

帰りはドラマ出演者の等身大パネルのお見送りを受けて歴史博を後にしました。今回の見学会により、明智光秀公に対する認識を新たにするとともに、戦国武将たちの生き様をより深く知ることが出来て、郷土の歴史・日本の歴史を深く学べたこととても喜んでいきます。

秋の全国交通安全運動
秋の全国交通安全運動が九月十一日(月)～三十日(水)の十日間行われて行われました。二十三日には岐阜公園・伊奈波にて立番をしました。秋口から年末にかけて死亡事故の約三割が魔の時間帯(午後四時～午後八時)に集中しています。

交通安全の意識を高めるため平成二〇年一月から毎年九月二十日を「交通事故死ゼロを目指す日」が設けられました。一人ひとりが交通事故に注意して行動することによって事故を無くすことが出来ます。

※自治会連合会・社会福祉協議会・その他からの助成金で横断歩道の旗を補充しました。

令和2年10月の予定表

日時	活動名	内容	係
5日(月) 19日(月) 1:30~	茶道	松尾流 川瀬先生	野田(八) 野田(美)
14日(水) 27日(火) 1:30~	華道	池の坊 奥田先生	森(三) 藤田 安山
7日(水) 21日(水) 1:30~	フォークダンス	世界の民族舞踊 渡辺先生	加藤(美) 笠原
16日(金) 1:30~	手芸	パッチワーク 大谷先生	森(清) 高橋(良)
9日(金) 23日(金) 1:30~	民踊	各地の民踊 黒川先生	河瀬 高橋(紀)
10日(土) 24日(土) 1:30~	書道	ペン・毛筆 野田先生	森(み) 羽宮 丹宗
5日(月)	第2回女性学級(骨密度測定)		
6日(火)	理事会(第2会議室)		
21日(水)	交通安全法令講習会		
22日(木)	第3回女性学級(施設見学)		
26日(月)	資源分別回収		

